Dainichi

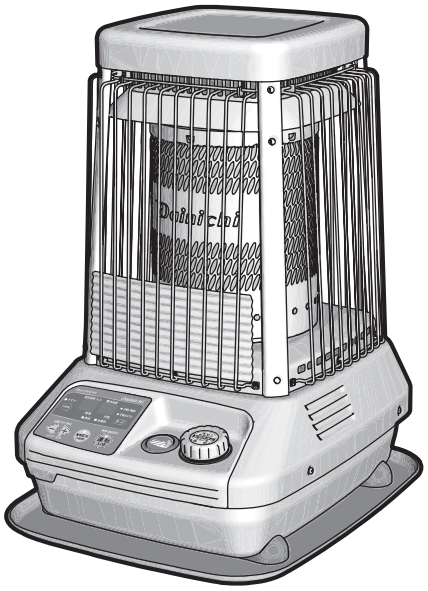
ブルーヒーター

正しく使って
上手に節約！

取扱説明書

＜保証書付＞裏表紙に付いています

FM-10C3 FM-19C3
（エフ エム シー）



[強制通気形開放式石油ストーブ]



この製品は日本国内専用ですので、日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

■製品アンケートへのご協力をお願いします
ご回答の際、ご購入機種の製造番号やお客様のお名前などの入力が必要です。
https://www.dainichi-net.co.jp/p-enquete/

ダイニチ工業　製品アンケート　検索

※通信料などはお客様のご負担となります。

■もくじ

ご使用前
安全のために必ずお守りください…… 1
各部のなまえ…… 5
使用する場所…… 7
使用前の準備…… 7

使用方法
運転を開始するとき…… 11
運転モードを切替えるとき…… 11
設定温度/火力を上げるとき・下げるとき…… 12
運転を停止するとき…… 12
運転を延長・継続するとき…… 13
タイマー運転を使用するとき…… 14

点検・その他
日常の点検・手入れのしかた…… 15
定期点検のおすすめ…… 16
保管（長期間使用しないとき）・廃棄のしかた… 17
故障・異常の見分けかたと処置のしかた…… 18
部品のご注文のしかた…… 20
部品交換について…… 21
仕　様…… 21
保証とアフターサービス…… 22

保証書…… 裏表紙

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも取り出せる場所に、大切に保管してください。
裏表紙の保証書は、「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめください。

■ 安全のために必ずお守りください

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

	このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。
	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。

⚠危険(DANGER)

ガソリン使用禁止

ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

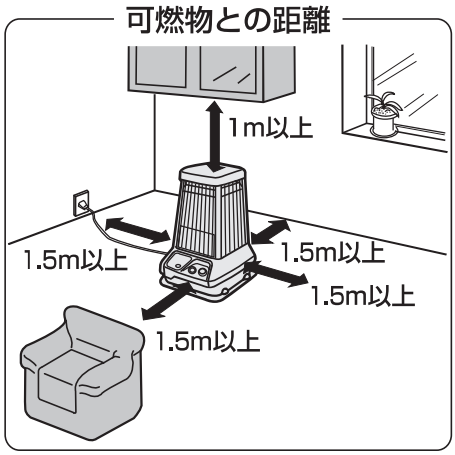


ガソリン使用禁止

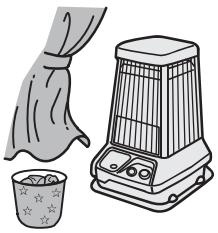
⚠警告(WARNING)

可燃物近接厳禁

カーテンなど燃えやすい物のそばなどでは使用しないでください。
火災の原因になります。
可燃物とは下図に示す距離を確保してください。




禁 止



換気必要

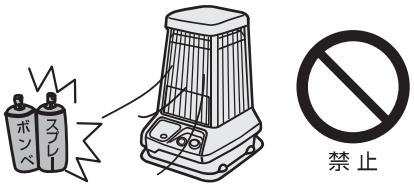
換気せずに使用を続けないでください。
酸素が不足すると不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。また、乳幼児や呼吸器疾患などの方は、体調不良になるおそれがあります。
換気は、換気扇を使用したり、窓や戸などを２カ所以上開けると効率良く行えます。
窓の凍結、地下室など換気が十分に行えない場所では使用しないでください。




換気必要

⚠警告(WARNING)

スプレー缶厳禁
スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風のあたるところに放置しないでください。
熱で缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。

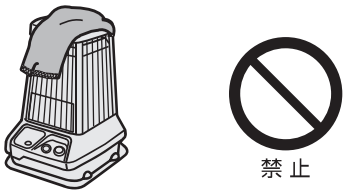


禁 止

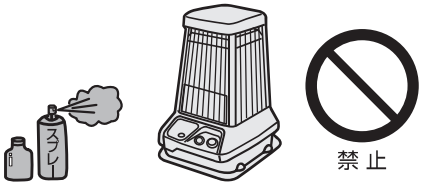
衣類の乾燥厳禁
衣類などの乾燥には使用しないでください。
衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。


衣類乾燥厳禁

温風吹出口をふさがない
衣類、紙などで温風吹出口や燃焼空気取入口をふさがないでください。また、ストーブガードをご使用のときは、囲いに干し物を掛けたりしないでください。
異常燃焼や火災の原因になります。

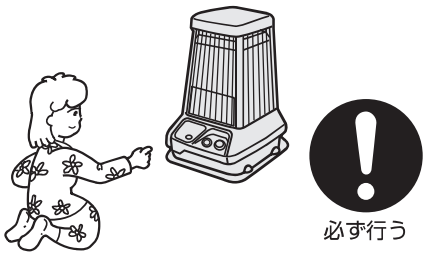

禁 止

可燃性ガス使用厳禁
ストーブを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの(ベンジン・シンナー)、スプレー、化学薬品などを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。



禁 止

寝るとき消火
寝るときや外出するときは、必ず消火してください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。


必ず行う

改造・分解禁止
改造・分解して使用しないでください。また、お客様自身による修理はしないでください。
機器の安全性を損なうため、火災など思わぬ事故の原因になります。


分解禁止

外付け装置による遠隔操作厳禁
スマートフォン、IT機器を使ってストーブのスイッチを操作する外付け装置※1は、安全性を確認できないため、使用しないでください。
※1 操作部付近に設置し、インターネット通信等を介して操作できる装置。


禁 止

⚠注意(CAUTION)

1 設置

次の場所では使用しない
火災や予想しない事故の原因になります。


禁 止

- ○風のあたる場所、部屋の出入口、屋外
- ○不安定な物をのせた棚などの下
- ○水平でない場所、不安定な場所
- ○振動の激しい場所
- ○人のいない場所、人があたたまる目的以外での場所(温室、飼育室など)
- ○可燃性ガスの発生する場所、またはたまる場所
- ○ほこり・湿気・金属粉の多い場所
- ○標高1,000m以上の高地
- ○直射日光のあたる場所
- ○換気設備のない場所
- ○窓の凍結などのため、換気が十分に行えない場所
- ○暖炉や押し入れなど、ストーブが囲われる場所
- ○理・美容院、クリーニング店、はんだ付け作業所、メッキ・塗装工場などスプレーや化学薬品を使う場所

■ 安全のために必ずお守りください

⚠注意(CAUTION)

2 使用時

温風に直接あたらない

温風に直接長時間あたらないでください。
特にお子様や、病気の方などがご使用のときは十分に注意してください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。



本体内に指や異物を入れない

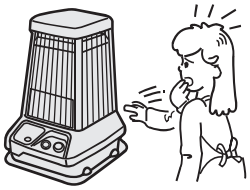
ガードや放熱筒など本体の中に指や可燃物、針金などの異物を入れないでください。
けがややけどを負ったり、火災や感電の原因になります。



高温部接触禁止

燃焼中や消火直後はガードなどの高温部に手など触れないでください。
やけどのおそれがあります。





水などの液体をかけない

ストーブに水やコーヒー、ジュースなどの液体をかけないでください。
水などの液体が本体内部に流れ込むと、故障・漏電・火災の原因になります。
液体をかけてしまったときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。22ページ



シリコーン配合商品を使用しない

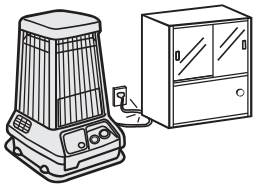
ファンヒーター(ストーブ)の故障の原因になることが表示されているヘアケア商品などは、シリコーンが配合されています。ストーブと同時に使用しないでください。また、注意表示がなくてもシリコーンが配合されている商品(化粧品類、衣類の防水剤・柔軟剤、家具などのつや出し剤・保護剤など)も同時使用は控えてください。
やむなくご使用になるときは、ストーブの運転を一時的に停止し、使用後は、換気を十分に行なってシリコーンなどの成分を屋外に排出してから運転を再開してください。
異常燃焼のおそれや、自動消火、換気ランプ(赤)点滅の原因になります。
シリコーン配合商品が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。



電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、重い物をのせないでください。また、ガードなどの高温部に近づけたり、束ねたまま使用しないでください。
電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。





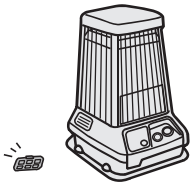
電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。
ぬれた手での抜き差しはしないでください。
感電の原因になります。



エアフィルターを外したまま使用しない

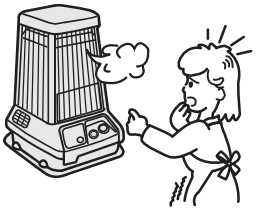
エアフィルターを取り外したまま使用しないでください。
内部にほこりがたまり、異常燃焼の原因になります。





異常・故障時使用禁止

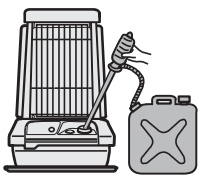
油漏れや臭い、すすの発生、炎の色、エラーを繰り返すなど異常や故障と思われるときは、使用せず処置を行なってください。
事故の原因になります。19ページ





移動・運搬するときの注意

ストーブを移動や修理などで運搬するときは、必ず火を消して油タンク内の灯油を抜いてください。
灯油がこぼれると、周囲を汚すおそれや、火災の原因になります。





⚠注意(CAUTION)

3 給油時

不良灯油使用禁止
変質灯油、不純灯油(灯油以外の油、水やごみが混入した灯油など)などの不良灯油を使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。

禁 止

給油時消火
給油は必ず消火し、ストーブが十分に冷えてから火の気のないところで行なってください。
火災のおそれがあります。

必ず行う

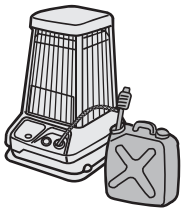


給油口ふたを確実に閉める
給油口ふたは確実に閉め、こぼれた灯油は完全にふき取ってください。
火災のおそれがあります。

必ず行う

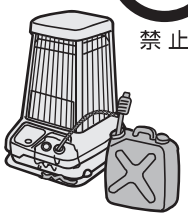
給油ポンプで給油する
給油は必ず市販の給油ポンプを使用し、バーナ部周辺に灯油をかけないでください。
誤ってかけてしまったときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。
そのまま使用を続けると火災の原因になります。22ページ

必ず行う



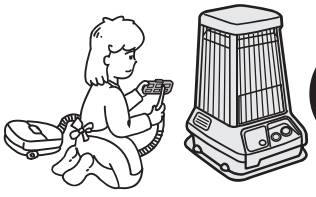
油量計の「満」を超えての給油厳禁
油量計の「満」を超える給油は、しないでください。
誤って灯油があふれ、ストーブに多量にこぼれたときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。
そのまま使用を続けると火災の原因になります。22ページ

禁 止



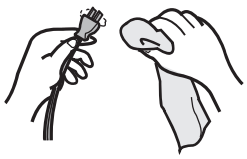
4 点検・手入れ・保管・廃棄

ほこりの除去
エアフィルターは週に１回以上必ず掃除してください。
ごみ、ほこりなどが付着すると異常燃焼のおそれがあります。



必ず行う

電源プラグのお手入れをする
ときどきは電源プラグを抜き、ほこりや金属物を除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



必ず行う

長期間使用しないときは電源プラグを抜く
長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。

プラグを抜く

保管時にしていただくこと
長期間使用しないときや、保管するときは、必ず油タンク内の灯油を抜き、傾けたり、横倒しの状態では保管しないでください。
火災のおそれがあります。



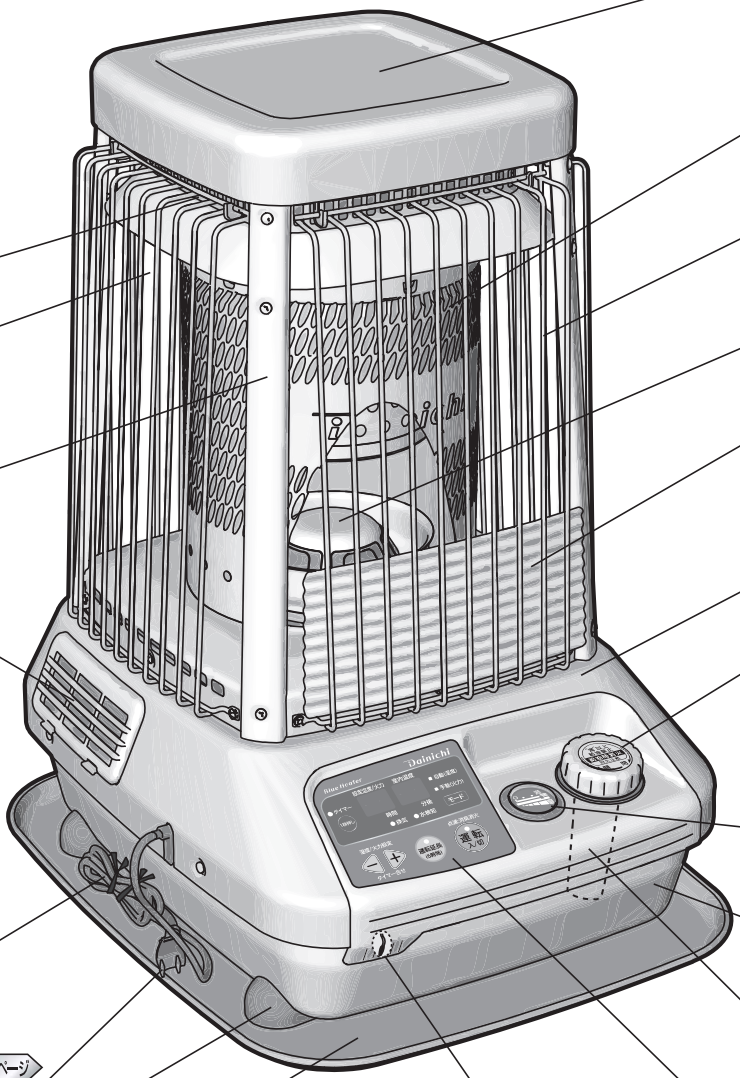
必ず行う

廃棄するとき
ストーブを廃棄処分するときは、必ず油タンク内の灯油を市販の給油ポンプなどで抜いてください。
灯油が入ったまま廃棄すると、リサイクルの際、思わぬ事故になるおそれがあります。17ページ

必ず行う

■ 各部のなまえ

外観図



上面板
放熱筒
ガード
バーナ
ケース遮熱板
バーナ枠
給油口・給油口ふた 10ページ
油量計 10ページ
油タンク 8ページ 17ページ 20ページ
点 油フィルター（給油口内部） 16ページ 17ページ
操作・表示部 6ページ
室温センサー（内部） 12ページ 18ページ
点 ファンガード（温風空気取入口） 16ページ
温風吹出口
ガード支柱
点 エアフィルター（燃焼空気取入口） 15ページ
点 電源コード 17ページ
点 電源プラグ 8ページ 17ページ
タンクゴム足 7ページ
点 置台 7ページ

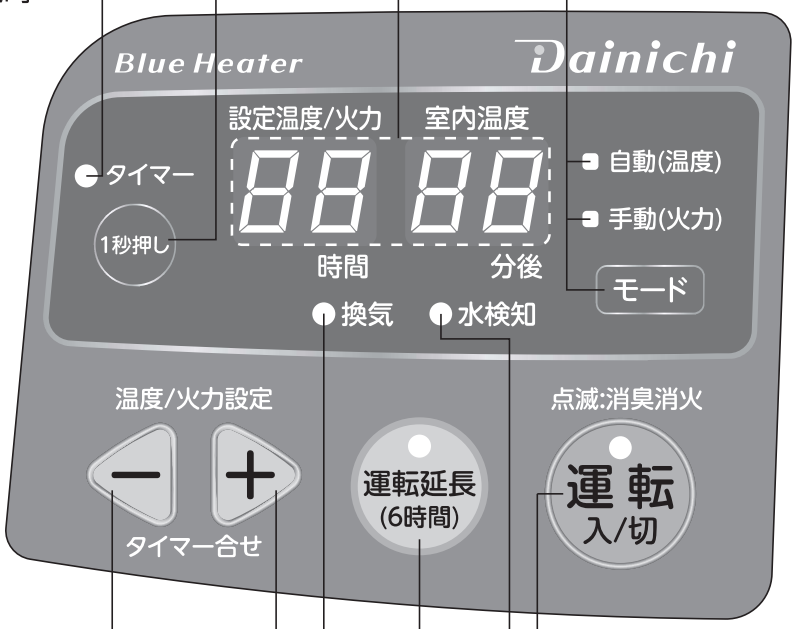
放熱筒 運転中高温になる部分（ご注意ください）

点 点検・手入れが必要な部分

※外観図、操作・表示部は機種により若干異なります（イラストはFM-10C3で説明しています）。

操作・表示部

※操作部はイメージです。
表示部は説明のため、すべて表示した状態です。
使用中に、すべて表示することはありません。



デジタル表示部
- ○設定温度/火力、室内温度表示 11ページ 12ページ
- ○タイマー運転開始までの残り時間表示 14ページ
- ○エラー表示 19ページ

タイマーボタン 14ページ
- ○タイマー運転のセット・解除を行う

タイマーランプ(緑)
- ○点灯…タイマー運転待機中
  タイマー運転中
- ○点滅…タイマー消火直前
  (10分前から)
  タイマー消火時

モードボタン 11ページ
- ○自動運転と手動運転の切替えを行う

自動ランプ(緑)
- ○自動点灯…自動運転中

手動ランプ(緑)
- ○手動点灯…手動運転中

温度/火力設定ボタン 12ページ
- ○温度や火力を設定する

タイマー合せボタン 14ページ
- ○タイマー運転開始までの時間を設定する

換気ランプ(赤) 19ページ 20ページ
- ○点滅…換気が必要

運転延長ボタン 13ページ
- ○押したときからさらに6時間運転を継続する

運転延長ランプ(赤)
- ○点滅…自動消火直前(10分前から)
- ○点灯…自動消火時

運転 入/切スイッチ 11ページ 12ページ 14ページ
- ○運転の開始・停止を行う
- ○タイマー運転の解除を行う

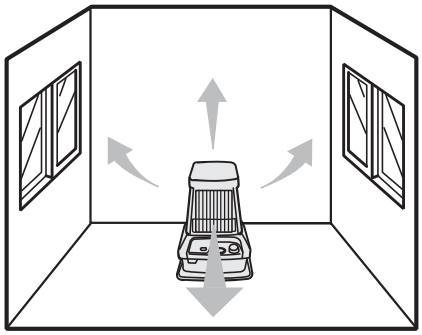
運転ランプ(赤)
- ○点灯…運転中
- ○消灯…運転停止中

消臭消火ランプ(赤) 12ページ
- ○点滅…消臭消火中

水検知ランプ(赤) 19ページ 20ページ
- ○点滅…油タンク内に水がたまった

■ 使用する場所

効果的に使用するために



○温風は全方向に吹き出しますので、周囲に温風の循環を妨げるような障害物を置かないようにしてください。
○部屋の中央で使用すると、空気の循環が良くなり効果的です。

排気筒の取り付け(FM-19C3のみ)

開放店舗など以外でご使用になるときは、煙突(別売りの排気筒取付セット必要)を取り付けるか、排気フードのある場所でご使用ください。

排気筒取付セット
3,850円
(本体価格 3,500円)
※煙突は含まれていません。

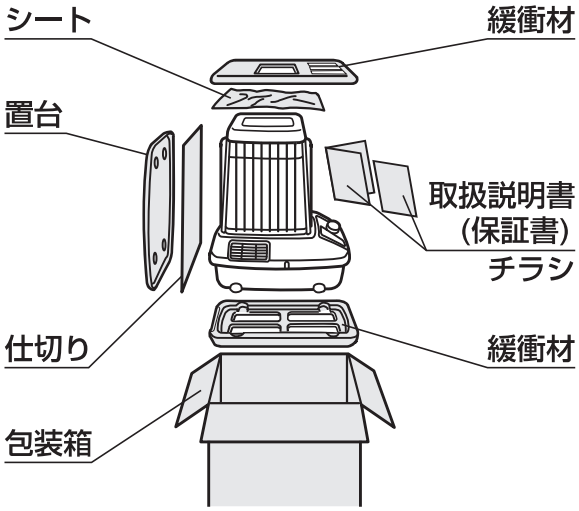
お守りください

○排気筒取付セットのご購入・取り付けについてはお買い上げの販売店などにご相談ください。
取り付けには工事が必要です。
指定外のものを使ったり、誤った取り付けをすると燃焼不良や火災の原因になります。

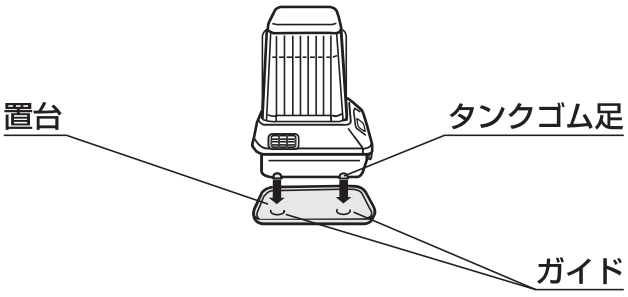
■ 使用前の準備

ストーブのセット

1 包装箱から緩衝材などを取り除き、ストーブと置台を取り出す



2 置台のガイドにタンクゴム足を合わせストーブを置く



お守りください

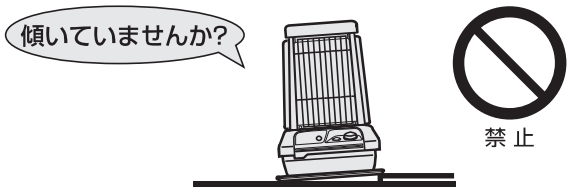
○給油する際に灯油がこぼれ床を汚したりするおそれがありますので、必ず置台を使用してください。
○包装箱と緩衝材は保管時に必要となりますので、大切に保管してください。

■ 使用前の準備

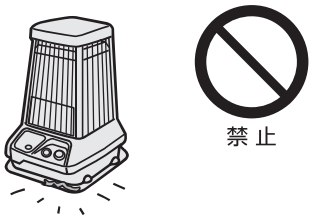
運転開始前の準備と確認

1 水平な場所に設置する

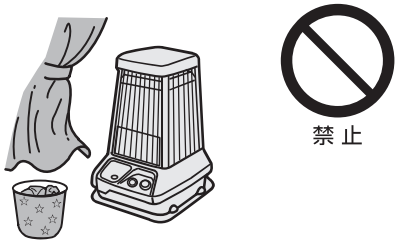
○ストーブが傾いた状態では使用しないでください。
転倒や予想しない事故が発生するおそれがあります。また、対震自動消火装置が正しく作動しないことがあります。



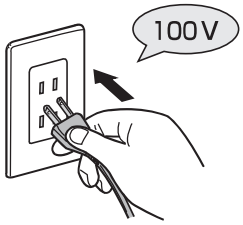
2 油タンクの周囲に油漏れがないか、置台に油のたまりがないか、よく確認する



3 ストーブの周辺に障害物や可燃物がないか確認する

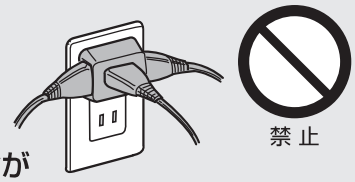


4 電源プラグをコンセント(100V)に確実に差し込む



お守りください

○200V電源には絶対に差し込まないでください。
火災・感電・故障の原因になります。
○タコ足配線はしないでください。
定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
○電源に発電機を使用するときは、家庭用電源(100V)と同レベルの電源供給ができる機器を使用してください(詳しくは、発電機メーカーに確認してください)。
機器が正常に作動せず、故障の原因になります。



■ 使用前の準備

燃　料

燃料は必ず灯油(JIS 1 号灯油)を使用してください。
ガソリン、不良灯油(変質灯油・不純灯油)は、絶対に使用しないでください。
異常燃焼や故障の原因になります。
(灯油を購入されるときは、SQマークを表示している販売店で購入されることをおすすめします)

灯油とガソリンの見分けかた

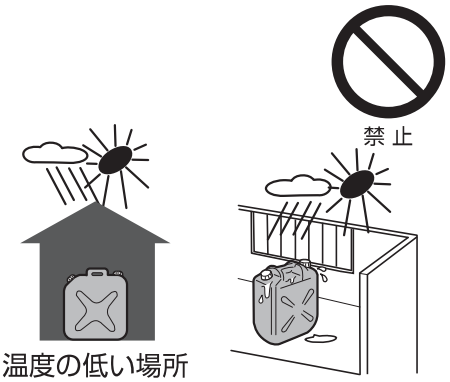
指先に燃料をつけて、火の気のないところで息を吹きかけてください。

灯　油	ガソリン
○  ぬれたまま	×  すぐ乾く

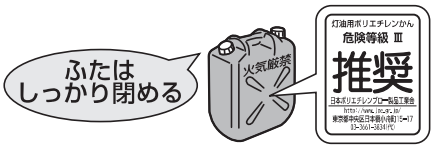
正しい灯油の保管方法

火気・雨水・ごみ・高温・日光を避けた場所で保管する(翌シーズンに持ち越さない)

良い例　悪い例



紫外線を通しにくい色付の灯油用ポリタンク(推奨マーク付)を使用する
乳白色のポリタンク(水用)は使用しないでください。

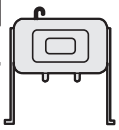


灯油は紫外線だけでなく温度でも変質するため、推奨マーク付の灯油用ポリタンクでも日なたには放置しないでください。
変質灯油になります。

屋外でのドラム缶の保管は控える
栓のすき間から水が混入したり、さびが発生します。
やむなくドラム缶で保管するときは、カバーを掛けるなどしてください。
給油時は、水・さびなどの混入がないことを確認してください。



ホームタンクを使用しているときは、年に数回、水抜きを行う



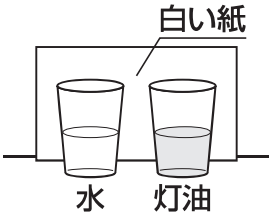
不良灯油(変質灯油・不純灯油)とは

変質灯油
以下の様な保管をした灯油は、変質する可能性があります。
- ○昨シーズンより持ち越した灯油
- ○温度の高い場所で保管した灯油
- ○日光のあたる場所で保管した灯油
- ○乳白色のポリタンク(水用)で保管した灯油
- ○容器のふたが開けてあった灯油

不純灯油
- ○水やごみなどが混入した灯油
- ○ガソリン、軽油、シンナー、機械油、天ぷら油などが混入した灯油
- ○灯油以外の油を入れたことのある容器に保管した灯油
- ○水抜剤や助燃剤を添加した灯油

不良灯油(変質灯油・不純灯油)の見分けかた

◆上記の「正しい灯油の保管方法」に従って保管されていなかった灯油は、変質灯油の可能性があります。
◆2つのコップで比較し、見分けることができます。
- ○灯油に少しでも色がついていたり、すっぱい臭いのするものは変質灯油です。
  ただし、保管状態によっては灯油が無色でも変質灯油の可能性があります。
- ○水が下にたまり、灯油と分離しているものは不純灯油です。



変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用したときの症状	万一変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用したときの処置方法
○臭いが強くなる ○黄色い炎が混じる 11ページ ○火力が上がらない ○消火しにくい ○着火しにくい ○途中消火する(E02, E03, E13)	○灯油を抜き、きれいな灯油で油タンク内や油フィルターを洗ってからご使用ください。16ページ 17ページ ○着火・消火を5回程度繰り返してください。そのとき少し臭いがしますので、換気を十分に行なってください。 ○それでも直らないときは修理が必要となります。お買い上げの販売店にご相談ください。22ページ

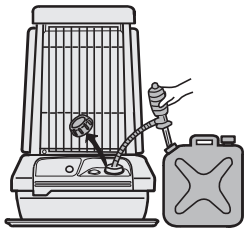
メモ

○不良灯油(変質灯油・不純灯油)が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。

給油のしかた

給油は必ず消火し、ストーブが十分に冷えてから火の気のないところで行なってください。

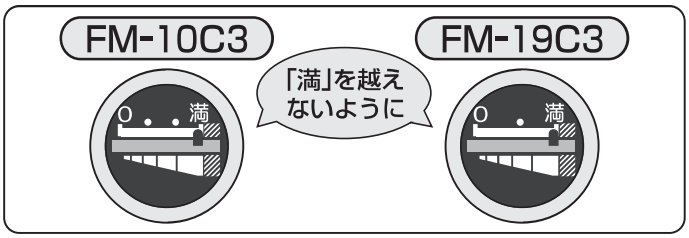
1 給油口ふたを外し、市販の給油ポンプを給油口に奥まで差し込む



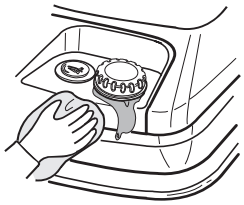
お守りください

○給油は必ず市販の給油ポンプを使用してください。
ポリタンクのノズルから直接給油しないでください。
○油フィルターは必ず使用してください。
使用しないと油タンク内に不純物が混入し、故障の原因になります。

2 油量計の「満」を超えないようゆっくりと給油する

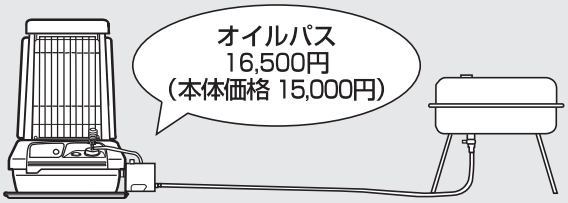


3 給油口ふたを確実に閉め、給油口のまわりにこぼれた灯油は完全にふき取る



メモ

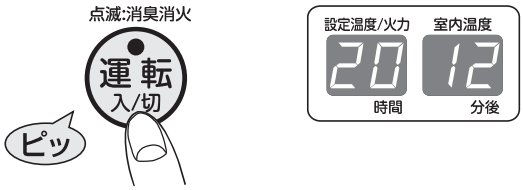
○別売りのオイルパスを用意しています。20ページ
オイルパスを使用すると給油タンクから直接灯油を供給できます。オイルパスのご購入・取り付けについては、お買い上げの販売店などにご相談ください。
取り付けには工事が必要です。



■ 運転を開始するとき



運転 入/切スイッチを押す



約80秒後に着火します。

○着火するとき「カタン」という動作音がしますが異常ではありません。

○運転ランプ(赤)が点灯します。
○設定温度と室内温度を表示します(室内温度は、1℃から表示し、0℃以下のときは「Lo」を表示します)。

炎の状態を確認する

※炎の状態は大火力時に確認してください。

○正常燃焼



○青い炎で燃焼する。
○燃焼量によっては、バーナの網全体、または一部が赤く見える場合がありますが、異常ではありません。

×異常燃焼



○炎の中に黄色い炎が筋状に現れる。

処置を行なってください。 20ページ

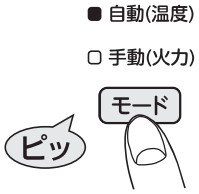
メモ

○初めてお使いになるときは、防錆油や耐熱塗料が焼け、煙や臭いが出ることがあります。3～4時間でおさまりますので、部屋の換気をしながらご使用ください。
オレンジ色の炎が出るときは、しばらくの間、燃焼を続けているとおさまります。

■ 運転モードを切替えるとき

自動運転と手動運転の2通りがありますので、お好きな使いかたをお選びいただけます。

モードボタンを押し、運転モードを選ぶ



◆自動運転
○設定温度と室内温度により自動的に火力を変え運転します(自動ランプ(緑)が点灯)。

◆手動運転
○常に設定した火力で運転します(手動ランプ(緑)が点灯)。

メモ

○初めてお使いになるときや、電源プラグを抜いたときは、自動運転になります。

■ 設定温度/火力を上げるとき・下げるとき

自動運転

温度/火力設定ボタンを押し、お好みの温度に設定する



○温度は12～30℃の範囲と、「Lo」(常に小火力)、「Hi」(常に大火力)に設定できます。

手動運転

温度/火力設定ボタンを押し、お好みの火力に設定する



○火力は１～10の10段階で設定できます。
数字が大きいほど火力は大きくなります。

設定を上げるとき



設定を下げるとき



メモ



○狭い部屋や断熱のよい部屋で使用したり、秋口・春先など外気温が比較的高いときに、室内温度が上がり過ぎてしまうことがあります。そのときでも燃焼を続けていますので、あついと感じたときは運転を停止してください。
○室内温度の表示は、室温センサーが検知した室内温度の目安です。設置方法などにより温風の循環が影響し、部屋の温度計とは一致しないことがあります。
○電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、自動運転の設定温度と手動運転の火力設定が解除されます。再度、設定してください。

■ 運転を停止するとき

運転 入/切スイッチを押す



○表示部が消灯し、消臭消火ランプ(赤)が点滅します。

約５秒後に消火します。

○必ず火が消えたことを確認してください。
○消火するとき「カタン」という動作音がしますが異常ではありません。

消臭機能

消火するときに発生する臭いの原因となる未燃ガスの発生を抑える機能です。
消臭機能が作動しているとき、消臭消火ランプ(赤)が点滅してお知らせします。
○運転 入/切スイッチを押すと、約５秒間、未燃ガスを燃焼させてから消火します。
○異常停止や短時間での運転では消臭機能は作動しません。



お守りください

○消火は必ず運転 入/切スイッチで行なってください。また、運転停止後３分間は、本体を冷やすためファンが回っていますので、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
電源プラグを抜いて消火したり、消火後すぐに電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

■ 運転を延長・継続するとき



消し忘れによる万一の事故を防ぐため、運転開始後６時間で消し忘れ消火装置が作動し自動消火します。

燃焼残り時間をお知らせするとき

６時間で自動消火する前に、**運転延長ランプ(赤)と電子音でお知らせします。**

自動消火10分前



７回電子音が鳴る
運転延長ランプ(赤)点滅

自動消火５分前



７回電子音が鳴る
運転延長ランプ(赤)点滅

自動消火
(運転開始から６時間経過)



７回電子音が鳴り自動消火
運転延長ランプ(赤)点灯
(消火後も点灯し続けます)

※自動消火後に運転 入/切スイッチを押すと点灯を解除できますが、再度、運転が開始されます。

自動消火せずに運転を継続するとき

運転延長ボタンを押す



○燃焼残り時間のお知らせに関係なく、運転延長ボタンを押したときから、さらに６時間運転を継続します。

お守りください

○継続して長時間運転するときは、部屋の換気に十分注意してください。1ページ
○寝るときや外出するときは、消し忘れ消火装置には頼らず、必ず運転 入/切スイッチで消火してください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

■ タイマー運転を使用するとき

タイマー運転をセットする

1 運転 入/切スイッチを押し、運転状態にする(運転中は押す必要ありません)



○運転ランプ(赤)が点灯します。

2 温度/火力設定ボタンを押し、設定温度・火力を合わせる

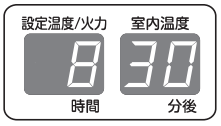
3 タイマーボタンを「ピッ」と鳴るまで約１秒間押す



○タイマーランプ(緑)が点灯します(運転中は運転が停止します)。
○タイマー運転開始までの時間が表示されます。
初めてご使用のときや電源プラグをコンセントから抜いたときは、「12:00」を表示します。

4 タイマー合せボタンを押し、運転開始時間を合わせる





※タイマー合せボタンをしばらく押し続けると早送りができます。

○何時間後に運転開始させたいかを計算し、時間を合わせる。
時間は最大24時間後まで10分単位で合わせられます。

午前６時30分に設定するとき

《例》現在時刻…午後10時
⇩
運転開始時間を８時間30分後に合わせる

○一度、設定した時間は記憶されますので、次回セット時に便利です。

メモ

○タイマー運転のセットをしてから運転 入/切スイッチ、またはタイマーボタンを押すと、タイマー運転が解除されますので注意してください。
○電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したとき、地震や強い振動・衝撃を受けたことにより安全装置が作動したときは、もう一度 **1** からセットしてください。

タイマー運転開始

セットした時刻になると自動的にタイマー運転を開始し、安全のため１時間で自動消火します。自動消火する前にタイマーランプ(緑)と電子音でお知らせします。

自動消火10分前



7回電子音が鳴る
タイマーランプ(緑)
点滅

⇨

自動消火５分前



7回電子音が鳴る
タイマーランプ(緑)
点滅

⇨

自動消火
(タイマー運転開始から1時間経過)



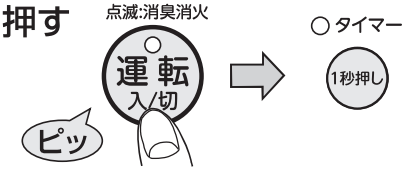
7回電子音が鳴り自動消火
タイマーランプ(緑)点滅
(消火後も点滅し続けます)

タイマー運転を解除する

タイマー運転待機中

運転 入/切スイッチを押す

○タイマーランプ(緑)が消灯します。



タイマー運転中

タイマーボタンを押す

○タイマーランプ(緑)が消灯し、運転を継続します。



使用方法

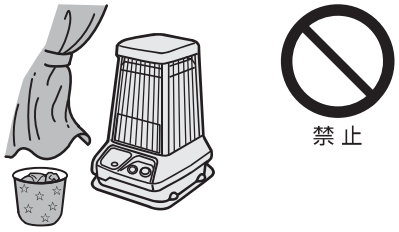
■ 日常の点検・手入れのしかた

お守りください

○点検・手入れを行うときは、必ず運転を停止させ、本体が冷えてから電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。また、分解はしないでください。
火災ややけどのおそれがあります。

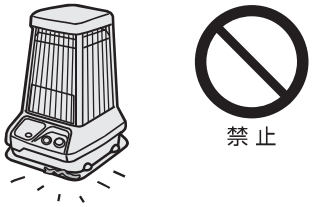
ご使用のたびに

本体の周辺に可燃物はないか



油漏れ・油のたまり・油のにじみはないか

異常があるときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。



週に１回以上は

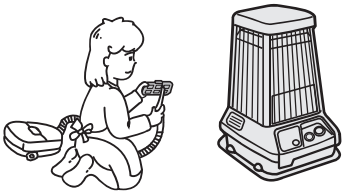
本体のほこりや汚れをふき取る

柔らかい布でからぶきするか、水でうすめた中性洗剤をしみ込ませた布でふいてください。
ベンジン・シンナーなどは使用しないでください。

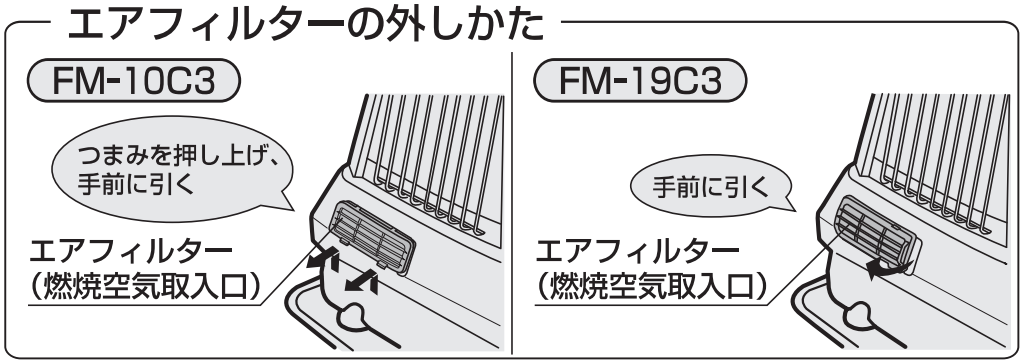


エアフィルターのほこりを取る

エアフィルターのほこりは、掃除機などで吸い取ってください。
汚れがひどいときは、洗剤などを使って浸け置きし、水で洗い流してください。



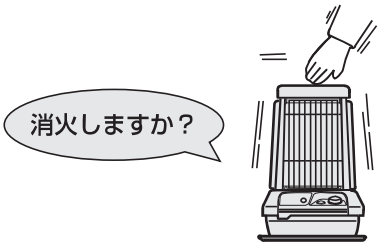
エアフィルターの外しかた



１カ月に１回以上は

対震自動消火装置の点検

燃焼中に本体をゆすり、消火するか確認してください。
消火しないときは修理が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。



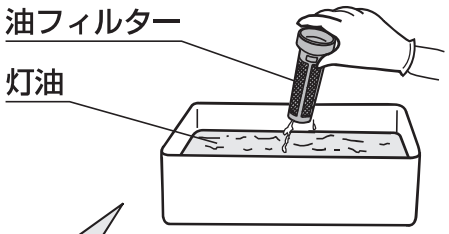
ファンガードのほこりを取る

ファンガードのほこりは、掃除機などで吸い取ってください。



油フィルターの点検・掃除をする

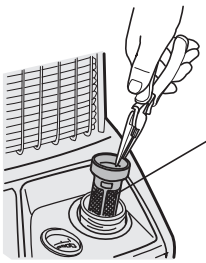
油フィルターがごみで目づまりしているときは、きれいな灯油ですすぎ洗いし、ごみなどを取り除いてください。



洗浄後の灯油の処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。洗浄後の灯油を使用すると故障の原因になります。

油フィルターの外しかた

○油フィルターが外れ難いときは、ラジオペンチなど先端が細いもので挟み、持ち上げてください。指を入れて無理に外そうとすると、けがをするおそれがあります。



○取り出すときは、灯油などで床や衣服を汚さないよう注意してください。

■ 定期点検のおすすめ

２シーズンに１回の定期点検（有料）をおすすめします。

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要となります。
点検を受けないと、予想しない事故が発生するおそれがあります。
未然に事故を防止するため、シーズン初めやシーズン終了時にお買い上げの販売店、または修理資格者（一般財団法人日本石油燃焼機器保守協会（TEL03-3499-2928）で行う技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など）のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

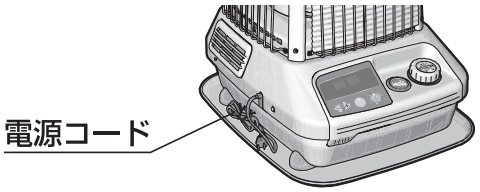
愛情点検	長年ご使用のストーブの点検を！			
	こんな症状はありませんか	・油漏れする。 ・強い臭いがする。 ・運転中に異常な音がする。 ・その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止	事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

■ 保管(長期間使用しないとき)・廃棄のしかた

次の手順に従ってストーブを保管してください。

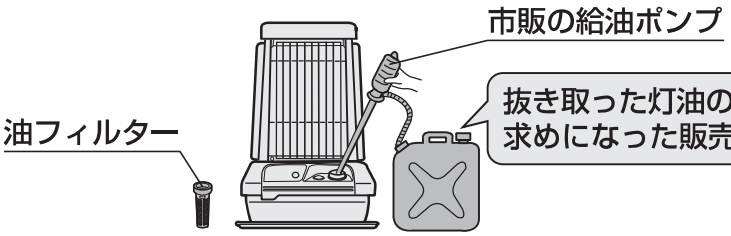
1 電源コードを束ねる

○電源プラグ・コードのほこりや汚れをふき取ってから束ねてください。



2 油タンク内の灯油を抜く

○油フィルターを取り除き、市販の給油ポンプなどで、油タンク内の灯油を抜いてください。
(給油ポンプの先を平らにカットすると、抜き取りやすくなります)



メモ

○別売りのスポイトを用意しています。スポイトを使用すると、市販の給油ポンプなどで抜けきれなかった灯油が抜き取りやすくなります。20ページ



スポイト
440円
(本体価格 400円)

3 油フィルター・エアフィルター・ファンガードの掃除をする 15ページ 16ページ

4 本体の汚れをふき取る 15ページ



5 ストーブを包装箱に入れる

○湿気の少ない場所に保管してください。

お守りください

○ストーブを傾けたり、横倒しの状態では保管しないでください。
抜けきれなかった灯油が漏れ、火災のおそれがあります。
○油タンク内の灯油を抜かずに保管すると、灯油が変質し、故障のおそれがあります。
○灯油は翌シーズンに持ち越さず、使いきるようにしてください。
○電源プラグをコンセントに差し込んだまま保管しないでください。
何らかの原因で運転スイッチが入ってしまうと火災のおそれがあります。

廃棄するとき

○ストーブを廃棄処分するときは、各自治体の指示に従ってください。
○必ず油タンク内の灯油を市販の給油ポンプなどで抜いてください。
灯油が入ったまま廃棄すると、リサイクルの際、思わぬ事故になるおそれがあります。
○灯油の処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

■ 故障・異常の見分けかたと処置のしかた

修理を依頼する前に

次の症状は故障ではありません。修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。

症　状	原　因
すぐ着火しない	○予熱時間が約80秒必要です。 ○給油直後は灯油が送油経路に回るまで時間がかかります。 ２、３回着火動作を繰り返してください。
「カタン」と音がする	着火するための動作音です。 異常ではありません。
初めて使用するときや灯油がなくなり、再び着火するとき白煙が出る	灯油の気化ガスがバーナに充分回らないと、このような症状が出ることがありますが、異常ではありません。
初めて使用するときオレンジ色の炎や煙、臭いが出る	防錆油や耐熱塗料が焼けるためです。煙や臭いは３～４時間でおさまりますので、部屋の換気をしながらご使用ください。 オレンジ色の炎は、しばらくの間、燃焼を続けているとおさまります。
炎の色がピンク、またはオレンジ色になったり、ときどきチラチラと赤くなる	○超音波式の加湿器を使用すると起こります。水に含まれるカルシウム分による反応です。 ○空気中のほこりが燃えるためです。燃える物質により炎の色は異なります。
設定温度を高めに設定しても室内温度が上がらない	部屋が広すぎるときに起こります。
室内温度が設定温度より高くなる	狭い部屋や断熱のよい部屋で使用したり、秋口・春先など外気温が比較的高いときに室内温度が上がり過ぎてしまうことがあります。そのときでも燃焼を続けていますので、あついと感じたときは運転を停止してください。
室内温度表示が部屋の温度計と一致しない	室内温度の表示は、室温センサーが検知した室内温度の目安です。 設置方法などにより温風の循環が影響し、部屋の温度計とは一致しないことがあります。
運転中や消火直後に「ポコ」、「パキッ」などの音がする	金属が熱により膨張・収縮するためです。 異常ではありません。
運転停止後、約５秒後に「カタン」と音がする	消火時の動作音です。 異常ではありません。

■ 故障・異常の見分けかたと処置のしかた

異常の原因と処置のしかた

何らかの異常で表のようなエラー表示や症状が現れたときは、適切な処置を行なってください(エラー表示は機種により異なります※1)。

表示部(エラー表示)	原因(安全装置/その他の装置)	処 置 方 法
全消灯 E 00 ※1	○電源プラグが抜けたため、自動消火した。 ○一時停電したため、自動消火した。 **(停電安全装置が作動)**	電源プラグをコンセントに確実に差し込み、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 8ページ
E 01	○本体を傾けたため、自動消火した。 ○地震(震度約５以上)や強い振動、衝撃を受けたため、自動消火した。 **(対震自動消火装置が作動)**	○水平な場所に設置する。 8ページ ○周囲の可燃物、機器の損傷、油のあふれなど異常がないことを確認したあと、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。
E 02 E 03	○灯油がなくなった ○着火ミス、異常燃焼により、自動消火した。 ○シリコーン配合商品の使用により、燃焼部にシリコン酸化物が付着したため、自動消火した。 3ページ **(点火安全装置が作動)** **(燃焼制御装置が作動)**	○灯油がないとき・・・給油する。 10ページ ○灯油があるとき・・・タンク内に水やごみがあれば取り除く。また、灯油を確認したあと、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 9ページ 10ページ 20ページ ○処置を行なっても繰り返し作動するときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ
E 07	室内温度が異常に高温(40℃以上)になったため、自動消火した。 **(室温異常高温防止装置が作動)**	設置方法を確かめ、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 1ページ
E 09	温風空気取入口が物でふさがれたり、ほこりがたまったため、自動消火した。 **(過熱防止装置が作動)**	○温風空気取入口の障害物を取り除き、掃除したあと、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 16ページ ○処置を行なっても繰り返し作動するときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ
E 13 ☀換気	密閉した部屋で使用したとき、不完全燃焼(部屋の空気の異常状態)を防止するため、自動消火した。 **(不完全燃焼防止装置が作動)** また、シリコーン配合商品の使用により、燃焼部にシリコン酸化物が付着したため、自動消火した。 3ページ	○部屋の換気を十分に行なってから、**運転 入/切スイッチ**を押し直す(使用中は必ず１時間に１～２回換気する)。 1ページ ○繰り返し作動するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ
H HH (１秒点滅) ※1	換気しないで使用を続け、不完全燃焼防止装置が連続して４回以上作動したため、自動消火した。 **(不完全燃焼通知機能が作動)**	○部屋の換気を十分に行なってから、電源プラグをコンセントに差し直し、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 ○繰り返し作動するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ
H HH (0.2秒点滅)※1	さらに不完全燃焼防止装置が３回作動したため、自動消火し、点火できなくなった。 **(再点火防止機能が作動)**	点検・修理が必要です。 お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ
☀水検知	油タンク内に水がたまった。 **(水検知装置が作動)**	市販の給油ポンプなどで油タンク内の水を取り除き**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 20ページ
運転延長ランプ(赤) 点灯	燃焼を開始してから６時間が経過したため、自動消火した。 **(消し忘れ消火装置が作動)**	**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 13ページ
運転ランプ(赤)点滅 **運転延長ランプ(赤)** 点滅 Err	**運転 入/切スイッチ**が押し続けられたため、自動消火した。	表示・操作部周辺の障害物を取り除き、電源プラグをコンセントに差し直してから**運転 入/切スイッチ**を押し直す。
上記以外のエラー (例：F 00，F 0d)	点検・修理が必要な故障です。	表示内容を控えたあと、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ

※１のエラー表示はFM-10C3機種のみに現れます。

症　状	原　因	処置方法
ボタンを押しても反応しない	電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに確実に差し込む。 8ページ
換気ランプ(赤)の点滅が止まらない	部屋の換気が不十分。	部屋の換気を十分に行う。 (使用中は必ず１時間に１～２回換気する) 1ページ
	シリコーン配合商品の使用により、燃焼部にシリコン酸化物が付着した。 3ページ	お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ
火力が上がらない	油タンク内に水やごみがたまっている。	油タンク内の水やごみを取り除く。 下記メモ参照
	変質灯油・不純灯油を使用した。 9ページ	○灯油を抜き、きれいな灯油で油タンク内や油フィルターを洗う。 16ページ 17ページ ○着火・消火を５回程度繰り返す。 (少し臭いがしますので、換気を十分に行なってください 1ページ)
異常燃焼を起こす 11ページ	変質灯油・不純灯油を使用した。 9ページ	
	部屋の換気が不十分。	部屋の換気を十分に行う。 (使用中は必ず１時間に１～２回換気する) 1ページ
	エアフィルターにほこりがたまった。	エアフィルターの掃除をする。 15ページ
臭いが強い	灯油がなくなった。	給油する。 10ページ
	変質灯油・不純灯油を使用した。 9ページ	灯油を抜き、きれいな灯油で油タンク内や油フィルターを洗う。 16ページ 17ページ
	灯油がこぼれたり、漏れている。	使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ

処置を行なっても直らないとき

故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ
故障したまま使用を続けると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

メモ

油タンク内への水混入について

○油タンク内に直接水を混入しなくても、設置場所の温度変化などで結露により油タンク内に水がたまることがあります。
○油タンク内に水が混入したときは、水検知装置が作動(水検知ランプ(赤)点滅)し、異常停止します。その際は、市販の給油ポンプなどで油タンク内の水を完全に抜き取ってください。

油タンク内の水やごみの取り除きかた



■ 部品のご注文のしかた

次の別売部品は、お買い上げの販売店にご注文ください。その際は、型式の呼び・部品名をはっきりとお伝えください。
また、弊社ホームページの「ダイニチWebShop」でもご注文ができます。

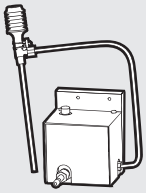
https://webshop.dainichi-net.co.jp/
ダイニチWebShop　検索
※通信料などはお客様のご負担となります。

別売部品

この部品は本ストーブ用です。他の機器では使用しないでください。
また、価格は予告なく変更することがあります。
その他の部品についてはお買い上げの販売店にご相談ください。


※油タンク内の抜けきれない灯油を抜くときにご使用ください。

スポイト
440円
(本体価格 400円)

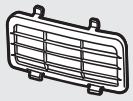

※取り付けには工事が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

オイルパス
16,500円
(本体価格 15,000円)

＜消耗部品＞



油フィルター
660円
(本体価格 600円)


※型式により部品が異なります。

エアフィルター
550円
(本体価格 500円)

■ 部品交換について

修理・部品交換が必要なときは、お買い上げの販売店、または修理資格者(一般財団法人日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2928)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など)のいる店などにご依頼ください。

お守りください

○修理・部品交換は、お客様自身で絶対に行わないでください。
けがややけどのおそれがあります。

■ 仕　様

型式の呼び		FM-10C3	FM-19C3
種類		気化式・強制通気形・強制対流形	
点火方式		ヒータ点火	
使用燃料		灯油(JIS 1 号灯油)	
燃料消費量	最大	10.0 kW(0.972 L/h)	18.5 kW(1.80 L/h)
	最小	3.50 kW(0.340 L/h)	5.60 kW(0.544 L/h)
暖房出力	最大	10.0 kW	18.5 kW
	最小	3.50 kW	5.60 kW
騒音(正面)	大火力	45 dB	50 dB
	小火力	34 dB	37 dB
油タンク容量		13.0 L	19.0 L
燃焼継続時間	大火力	13.4 時間	10.5 時間
	小火力	38.2 時間	34.9 時間
暖房のめやす	木造(戸建)	43.0 m²(26 畳)まで	77.5 m²(47 畳)まで
	ｺﾝｸﾘｰﾄ(集合)	58.0 m²(35 畳)まで	107.5 m²(65 畳)まで
外形寸法(高さ×幅×奥行)		665 mm×456 mm×546 mm(置台含む)	724 mm×507 mm×581 mm(置台含む)
質量		約 16.4 kg	約 19.0 kg
電源電圧及び周波数		AC100 V　50/60 Hz	
定格消費電力	最大	935/935 W(点火初期に短時間発生)	950/950 W(点火初期に短時間発生)
	燃焼時	265/265 W(大火力時)	448/448 W(大火力時)
		140/140 W(小火力時)	205/205 W(小火力時)
	待機時	1.1/1.1 W	
電流ヒューズ		5 A	
安全装置		停電安全装置、対震自動消火装置、燃焼制御装置、点火安全装置 不完全燃焼防止装置、過熱防止装置	
その他の装置		室温異常高温防止装置、水検知装置、消し忘れ消火装置	
付属品		置台	

■ 保証とアフターサービス

使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談・別売部品の購入などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 保証とアフターサービス

保証について

◆保証書（裏表紙に付いています） 裏表紙

○保証書は、必ず「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
○販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要になりますので、一緒に保管してください。
○内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

◆保証期間

保証期間は、お買い上げ日から本体１年間です。なお、消耗部品（油フィルター・エアフィルター）の取り替えは、保証期間中でも有料となります。他にも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品について

○補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
○本ストーブの補修用性能部品は、製造打切り後９年保有しています。

修理を依頼されるときは

○「故障・異常の見分けかたと処置のしかた」に従ってお調べください。18ページ 19ページ 20ページ
○処置を行なっても直らないときは、ご使用を中止し必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。その際は、右の事項をご連絡ください。

品　　名：ダイニチブルーヒーター
型式の呼び：本体背面に表示
お買い上げ日：保証書に記載
故障の症状：エラー表示など、できるだけ詳しく

◆保証期間中

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

◆保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料修理させていただきます。

◆修理料金

技術料+部品代（+出張料）などで構成されています。

お守りください

○修理などでストーブを運搬するときは、必ず油タンク内の灯油を抜いてください。
運搬の途中で灯油がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。17ページ

ご相談窓口（使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談など）

お客様ご相談窓口（通話料無料）

携帯電話、スマートフォンからもお問い合わせいただけます。
ＴＥＬ ０１２０-４６８-１１０
ＦＡＸ ０１２０-４６８-２２０

＜受付時間＞
9:00～12:00／13:00～17:00
（土曜・日曜・祝日は除く）

インターネットからのお問い合わせ

■パソコン・タブレット・スマートフォンからアクセス
https://www.dainichi-net.co.jp/support/

ダイニチ工業　お客様サポート　検索

※通信料などはお客様のご負担となります。

※型式の呼び（本体背面に表示）をご確認のうえ、ご連絡ください。

ダイニチ工業株式会社におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

1. ダイニチ工業株式会社（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からのご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2. 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
　①修理やその確認業務を委託する場合
　②法令の定める規定に基づく場合
3. 個人情報に関しては、お問い合わせいただきました窓口にご相談ください。

石油暖房機保証書

型名	ご購入機種に○を付けてください		製造番号	
	FM-10C3	FM-19C3		
お客様	お名前　　様 ご住所　〒 電話番号　（見　）本			
お買い上げ日		販売店名・住所・電話番号		
年　月　日				
保証期間（お買い上げ日から）				
本体１年間				

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から左記期間中故障が発生したときは、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様へお願い

お手数ですが、お名前・ご住所・電話番号をわかりやすくご記入ください。
販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

ご販売店様へ

お買い上げ日・製造番号・貴店名・住所・電話番号を必ず記入し（記入のないときは無効になります）、本書をお客様へお渡しください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障したときは、お買い上げの販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受けるときは、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に依頼してください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なったときは、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居のときは、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できないときは、弊社にご相談ください。
5. 保証期間内でも次のときは、有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り、不当な修理・改造による故障や損傷
   （ロ）お買い上げ後の移動・落下などによる本体の故障や損傷、および使用状況などによる本体のさび、変形、変色
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）などによる故障や損傷
   （ニ）異常電圧、指定外の電源（電圧・周波数）、水、ガソリン、ほこり、シリコーン配合商品などが原因の故障や損傷
   （ホ）不良灯油（変質灯油・不純灯油）使用による気化器の故障や損傷
   （ヘ）消耗部品（油フィルター・エアフィルター）の取り替え
   （ト）定期点検の費用
   （チ）一般暖房用以外（たとえば、温室暖房や車両・船舶への搭載）に使用されたときの故障や損傷
   （リ）本書の提示がないとき
   （ヌ）本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入のないとき、あるいは字句を書き替えられたとき。通信販売などでご購入したときは、商品の送り状・領収書などの提示がないとき。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または弊社にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書（22ページ）をご覧ください。

ダイニチ工業株式会社
〒950-1295 新潟市南区北田中780-6
お客様ご相談窓口TEL 0120-468-110
ホームページ　https://www.dainichi-net.co.jp/

8286972
FM-10C3・12・*,000・1